平成２８年度　第７回用瀬地域振興会議　議事概要

【開催日時】
　　平成２９年１月２０日（金）午後１時３０分～午後３時５０分

【開催場所】
　　用瀬町総合支所　３階会議室

【参加者】
出席委員　谷村萬吉、西川功美、平井育子、谷口芳幸、大家繁博、谷本由美子、西村繁榮、
　　岸本美鈴、山下ゆかり、中村史生、亀谷幸子、福山裕正　以上１２名（敬称略）

欠席委員　なし

関 係 課　地域振興局　久野局長　竹森地域振興課主事
　　協働推進課　岡本課長補佐、北村主事
　　情報政策課　山根課長補佐

事 務 局　田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、坂本産業建設課長、谷口市民福祉課長、
　　中村地域振興課課長補佐、金谷用瀬人権文化センター所長、金谷地域振興課主幹

傍 聴 者　３名

【次第】

１　開会

２　あいさつ

３　議題・報告事項

（１）地域内情報伝達設備の整備について

（事務局　資料に基づき説明）

（委員１）
　助成金は１回限りとのことだが上限はあるのか？

（事務局）
　上限を設定する方向で検討しております。

（委員２）
　この設備と防災無線との関係はどうなるのか。

（事務局）
　別々の設備です。防災無線は基本的に屋外スピーカーでの運用です。

（地域振興局）
　防災無線は市で一本化してデジタル方式に移行するための整備を行っております。このため、現在のように支所ごとに地域へ情報を流すことができなくなるため、それに代わる伝達方法を検討し、今回案を提示いたしました。この制度はＨ２９年度から運用する考えです。
　この案の中のＣＡＴＶによる音声告知端末方式はすでに国府町で運用されています。国府町内の地域や自治会で組合を作って設備を導入し、支所や学校等もその設備を利用して地域情報を流しています。危機管理からの情報についても、この音声告知端末に流れる仕組みのようです。

（会長）
　国府町のＣＡＴＶの加入率はどれぐらいか。また、加入していない世帯へはどのような形で情報発信しているのか。

（地域振興局）
　加入率は約５０％です。加入していない世帯へは市報やチラシ、回覧板などを活用しています。

（会長）
　ＣＡＴＶの加入率向上への対策はないのか

（情報政策課）
　加入率向上の対策として、ＣＡＴＶの会社に加入金の減額措置を検討してもらうよう要請しています。ただ、ＣＡＴＶへの加入について市の助成は考えていません。

（委員１）
　ＣＡＴＶによる音声告知端末方式の場合、端末機器の整備には助成があっても、毎月の利用料金が必要ならば、住民１００％の加入は難しいのではないか。

（協働推進課）
　ＣＡＴＶによる音声告知端末方式については、すでに鳥取市全域に情報網が整備されているので、加入すれば行政を含めた様々な情報を得ることが出来ます。しかし、有線放送や地域無線システムでは情報伝達が整備された地域に限定され、支所からの情報発信もできなくなります。
　なお、この設備の整備はあくまで自治会や組合など地域住民が主体となって行うもので、行政が情報を発信するために整備するものではありません。

（委員１）
　現在支所が防災無線で放送しているような情報は流れないのか。

（協働推進課）
　流すことが出来るとすればＣＡＴＶによる音声告知端末方式だけです。

（委員１）
　住民としては今後も支所からの情報も流してほしい。その点についてはどのように考えているのか。

（協働推進課）
　考え方を整理して改めて説明したいと思います。

（委員３）
　防災無線は災害など緊急時の放送だが、屋外スピーカーでは内容を聞きとりにくい。いままでどおり各家にも流してほしい。それが可能なのは、ＣＡＴＶの音声告知端末方式しかないということか。

（協働推進課）
　危機管理課との協議の中で、ＣＡＴＶの音声告知端末方式については支所にも機器を置いて放送することは可能とのことでした。それ以外の方式では、例えば、自主防災会には防災無線の戸別受信機が配布されるので、そこで放送を聞いてから整備された地区ごとに流してもらうしかないと思います。

（会長）
　用瀬地域で必要なのは、支所からの放送だけではなく、三つのまちづくり協議会も今まで通り地域に情報発信できることである。それぞれに対応した放送拠点は作れるのか。

（情報政策課）
ＣＡＴＶの音声告知端末方式では、地区単位での放送が可能です。

（会長）
　各所に放送拠点があれば今と同じ情報発信が出来る。ただ、ＣＡＴＶによる方式の場合、加入率が１００％ではないのが問題だ。

（協働推進課）
　ＣＡＴＶの音声告知端末方式の場合は、月額利用料としてＴＶで最低５００円、告知端末で１００円かかります。

（委員４）
ＴＶも告知端末も両方使用料を払わないといけないのか。

（情報政策課）
　両方支払っていただくことになります。なお、月額１００円の使用料は、音声告知端末以外にも携帯電話への配信なども選べるようになっています。

（会長）
　防災無線はいつまでにデジタル方式へ移行するのか。

（地域振興局）
　防災無線のデジタル方式への移行は、Ｈ３１～３２までに完了する方針です。そのため、

地域情報設備の助成制度はデジタル移行完了後１～２年程度継続する予定です。

（委員５）
　設備設置への助成率は全額助成ですか

（地域振興局）
　一部助成になると思います。また、助成額には上限を設ける予定です。

（会長）
　整備の進め方については、今後どのように決めていくのか。

（事務局）
　助成制度については、運用開始後に市から住民等へ説明をしていきます。その後、自治会や各地区、各集落が主体となって設備をどうしていくか検討していただくことになります。行政としては整備の助成はしますが整備方針を示すことは考えていません。

（会長）
　行政だけではなく各地区のまちづくり協議会の関係もあるので、各地区や集落だけではなく用瀬地域全体の問題として、自治会長会で意見を聞く機会が必要だと思う。

（２）教育委員会分室の執務場所等の変更について

（会長）
　これまで中央公民館が行っていた各講座やグループ団体などの活動への対応は、支所に移動した後も分室が行うのか。

（事務局）
　異動後も分室が対応しますが、今後の分室事務のあり方の基本方針に基づき、効率的な業務の見直しを行います。

（３）地域の課題・問題点について
◆バスの路線再編を含めた公共交通の維持と利用促進について

（会長）
　バス路線は特に遠隔地のほうが必要としていると思うが、実際はどうか。

（事務局）
　実際には、この１年間全然使われていないルートもあり、利用はきわめて少ない状況です。

（委員６）
　生活交通会議に参加しているが、どの地域も同じ悩みを抱えている。実際、利用されないので廃止となる路線も出ている。住民個々の意見は千差万別だと思うが、多くの方が、車を運転出来る間は使わないが、将来的にはバス路線がなくなると困ると思っておられる。どう

やって維持していくのか、各集落でも具体的に考えることが大事だと思う。

（会長）
　無くなると困るという心配はしているが、実際はなかなか利用しない。高齢者の事故が問題となり、免許を返納した方への優遇制度もあるが、なかなか利用されていないようだ。
　せっかく跨線橋を整備したので、住民が喜んで利用できるバスにすることが必要だ。

（事務局）
　昨年の１１～１２月に各サロンや老人クラブにお邪魔してバスの利用について聴き取りをしました。例えば、駅周辺から江波に帰るお昼頃の便がないとか、支所までバスが上がって欲しいなど様々な要望をお聞きしました。これらの要望を踏まえ交通政策課やバス会社と協議し、具体的な取り組みについて生活交通会議に諮っていくことになります。
　今後も、定期券の有効活用などバスの利用について直接住民の方々へ説明をする機会を作り、常に情報を提供しながら利用者を増やす取り組みを進めてまいります。

（会長）
　時間やルートの見直しなど一人でも利用者が増える具体的な取り組みを行ってほしい。

（委員４）
　先日、決まったダイヤを設けずに利用者からの予約を受けてから、日によってダイヤを変えるという他地域での取り組みをＴＶで見た。このような利用者に寄り添うやり方も考えられるのではないかと思う。

（事務局）
　利用者を登録制にする方法も検討してはという意見もあります。

（委員７）
　免許証返納した高齢者にバス利用について直接説明するといったきめ細かい対応も利用者増加には必要だと思う。

（４）総合支所整備（耐震化）の推進について

（会長）
　図書館に隣接している郷土資料館は今後どうなるのか。

（事務局）
　現在、鍵の開け閉めなど郷土資料館の日常の管理を図書館職員が対応しています。郷土資料館には重要な資料もあるので、図書館移転後の管理の仕方などについて、今後文化財課等と協議をしていきます。

（会長）
　郷土資料館と図書館とは関連がある施設だと思う。併せて支所へ機能を集約したほうがよいのではないか。

（事務局）

現在の郷土資料館の機能を全て支所に集約するのはスペース的に不可能です。移転後の図書館跡地の利用も含めて検討する必要があります。

（５）その他

特になし

４　地域振興への意見・提言（委員発表）

亀谷委員による発表
移住定住の推進に向けた子育て行政への提言について
・用瀬町での子育てについて
・若桜町の子育て支援について
・より多くの方が住みたい地域となるための子育て支援の課題について
中村委員による発表
郵便局の活動を通した地域での取り組みについて
・郵便局と行政との連携事業について
・郵便局と地域との連携した取り組みについて

５　各課報告

事務局　（資料などで説明）

地域振興課　行事予定、多文化交流とまちづくりシンポジウムについて説明
産業建設課　山歩き講座、流しびな行事について説明
市民福祉課　鳥取市ふれあい収集について説明

６　次回日程について

開催予定日　２月２２日（水）　１５時
会場については、用瀬町総合支所を予定

７　閉　　会